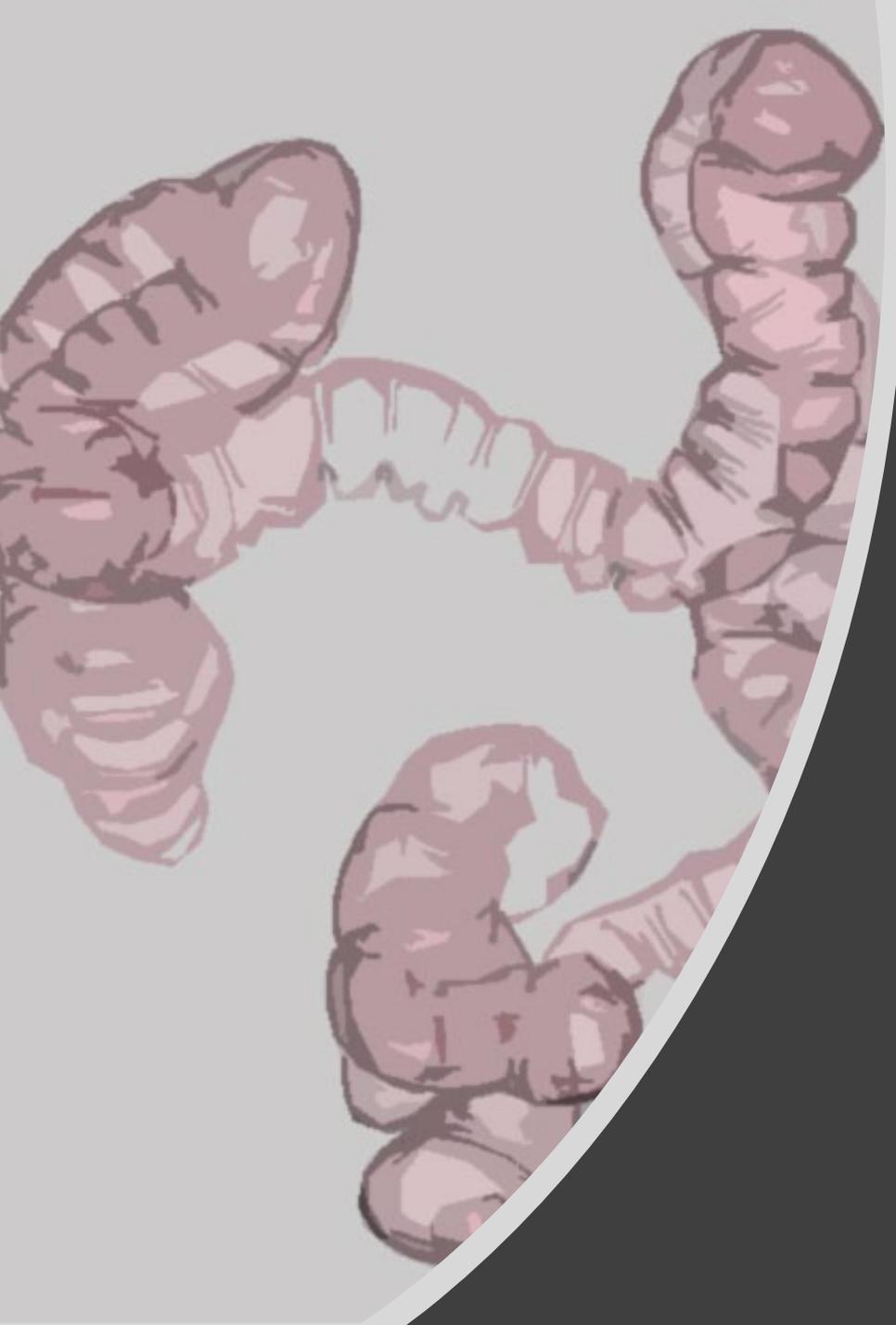


CTCメルマガ vol.48
2024.2.16

An illustration of a large intestine with several polyps. The polyps are depicted as irregular, fleshy growths of varying sizes protruding from the inner lining of the colon. The illustration is rendered in a reddish-brown color palette with white outlines, set against a light grey background. The entire illustration is contained within a white curved border that separates it from the dark grey background of the text area.

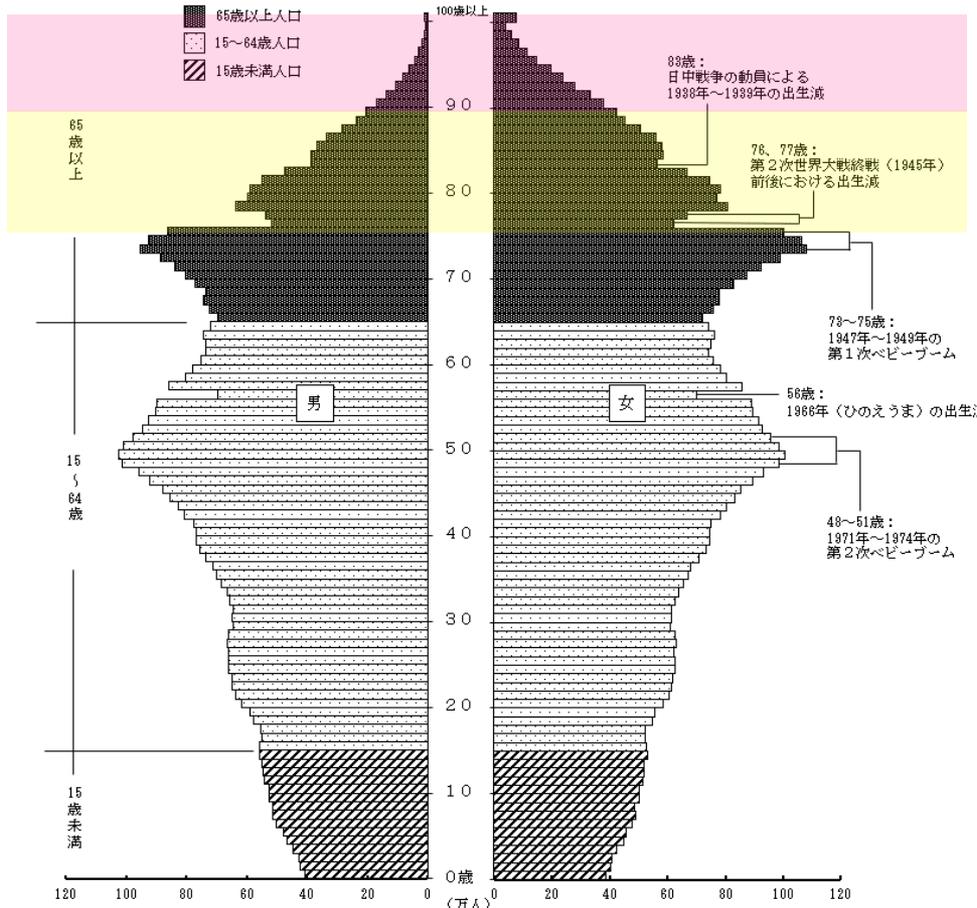
高齢化社会における 大腸検査

Presented by Daisuke Tsurumaru
Radiology Dept. Kyushu Univ.

高齢者は何歳から？

What age is considered as the definition of elderly?

日本老年医学会では **高齢者: 75~89歳**
超高齢者: 90歳~ と定義されています。



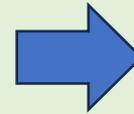
Elderly (75-89 YO) 16.7 million
Super-elderly (>90 YO) 2.6 million

日本には4000万人以上の
高齢者がいるのですね。

高齢者に対する大腸内視鏡検査の実情

The current status of colonoscopy for the elderly

前処置(下剤内服、排便)が大変
Burdensome bowel preparation
基礎疾患(心疾患、手術歴など)が多い
Poor underlying conditions
内視鏡挿入が難しい(痩せ、腸管過長など)
Likely incomplete CS



ハイリスク
Higher risks
治療の必要性?
(寿命との関連)
Life expectancy

本当にそこまでしてやる必要あるの？

私の診療経験から

高齢化社会における、安全な
大腸内視鏡検査と治療の在り方
— 便潜血検査、内視鏡前処置からESDまで —

櫻田 博 史

櫻田ほか、臨床と研究 89 : 537-544, 2012

このトピックに関するデータや文献も
いくつかあります。
内視鏡によって得られる利益、不利益
を十分に検討する必要があります。



代替オプションとして大腸CTはいかがでしょうか？

CTC as alternative?

85歳以上の超高齢者に対する低用量前処置を用いた大腸CT検査 ：安全性と有用性の検証

歌野 健一¹⁾, 根本 大樹¹⁾, 愛澤 正人¹⁾, 高柳 大輔¹⁾,
五十畑則之¹⁾, 永田 浩一²⁾, 遠藤 俊吾¹⁾, 富樫 一智¹⁾

1) 福島県立医科大学 会津医療センター 小腸大腸肛門科

2) 国立がん研究センター 社会と健康研究センター 検診開発研究部

消化器がん検診学会誌Vol.55(5), Sep. 2017

またまた歌野先生
の登場です！

論文の要旨

Reduced laxative CTC for patients aged 85 years or older: safety and validity study

- 大腸CTを実施した85歳以上の47名(中央値88歳)を後方視的に解析
47 elderly patients
- 検査適応は便潜血陽性が最多で16名(内視鏡挿入困難例は3例)
- 前処置はマグコロールP溶解液380ml(タギングあり)・鎮痙剤使用なし
380 ml laxative for bowel preparation
- 検査に伴う合併症なし
No complications
- 拡張不良(肛門括約筋不全)のため検査不良となったのは2例のみ
Only 2 cases incomplete

自作の大腸CT用マット
を用い半座位で撮影！

高齢者にも負担が少なく、それなりに精度も担保されています。

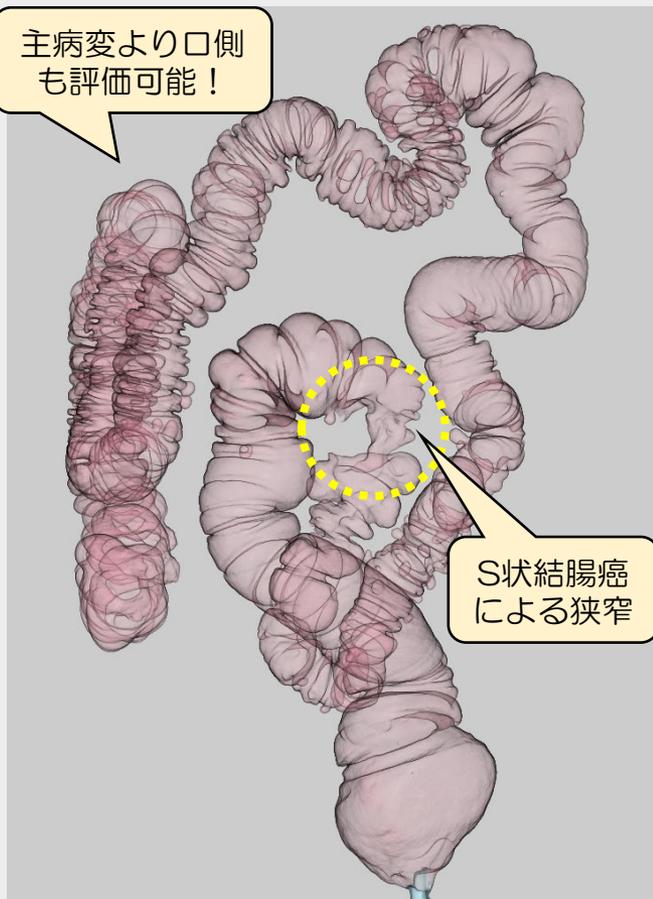
当院の最高齢は「100歳」です！

A CTC case of 100 YO female

大腸癌術前
ですが

100歳・女性、S状結腸癌 Sigmoid colon cancer

主病変より口側
も評価可能！



S状結腸癌
による狭窄

- 短時間の撮影で十分なクオリティの大腸CT画像が取得できました。
- 病変の局在診断だけでなく、それより口側の大腸に粗大病変がないことも確認できました。

CTC successfully performed



⇒外科手術により完治しています。

高齢者の大腸検査には大腸CTをご一考ください♪